

2022年11月 初版

学校のシャワーブースとは

日本パーティション工業会

学校のシャワーブースとは

小・中学校及び高校、大学、教育施設のシャワールームに使用される規格型の間仕切（パーティション）です。

その使用環境に適した「耐水性」、素肌での使用環境に適した「安全性」、更に快適にご利用いただくための「快適性」、また末永く安心してご利用頂くために 適正な「メンテナンス」が必要です。製品の特長をご理解いただいたうえご採用頂くことをお勧めします。



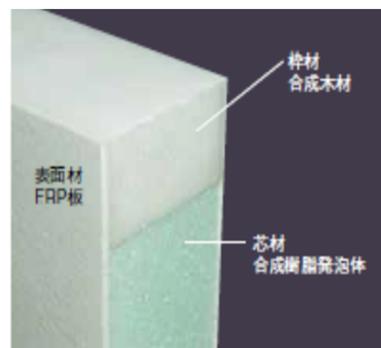
1. 耐水性

学校のプール・体育館の付属施設として設置されているシャワールームは、常に水や温水が掛かる状況で、使用中換気が行き届かない場合は、湿度も高い環境が長く続きます。シャワーブースの使用材料は「水や湿気に強い素材」を組み合わせています。



<耐水性のある主なパネル構造>

●サンドイッチ構造



パネルが表面材、枠材、無垢芯材で構成され、耐水性のある材料を組み合わせることで耐水性を向上しています。

表面材：FRP（繊維強化プラスチック）板
枠材：人造木材
芯材：合成樹脂発泡材

●ソリッド構造



ドア材には樹脂板（アクリル板等）もご用意致しました。耐水性、耐薬品性、意匠性に優れた材料です。

※パネル構造について詳細な説明は「トイレブースとは」を参照ください。
リンク先：日本パーティション工業会HPダウンロード各種資料「トイレブースとは」
(<https://jmpa.info/download/>)

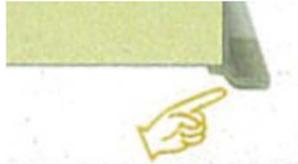
2. 安全性

シャワールームでは、利用者は素肌での使用になります。特に学校のシャワールームは低学年の児童も使用する場所になりますので、細部にわたり安全対策が必要です。

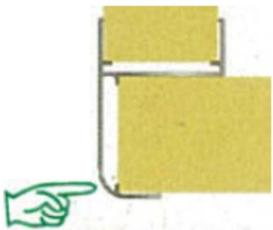
<安全対策>

- ・出入口開口部は、手指や身体が挟まれる事故を防止するため、「カーテン」をお勧めします。

《その他製品の安全対策例》



- 安全カバー
足元の安全のため、開口部エッジ端部を樹脂製のカバーで覆う



- カド部の丸み
角部に身体がぶつかった際、ケガのリスクを少なくするため適度な丸みをもたせる



- ドアパネルカドの丸み
ドアパネルを設置する場合、ドアパネルのカド部は素肌に刺さらない様に丸みをつけた加工をする



※メーカーにより仕様が異なります。詳細は各メーカーにご確認ください。

3. 快適性

大人数で一斉にシャワールームを利用する場合、隣のブースから流れてくる水が気になったり、カーテンがめくれて通路を通る人の目が気になったりします。
使用環境によっては以下の対応が可能です。

<隣の流水対策の一例>

■パネル下部の巾木仕様

通常は水はけを重視するためオープンジャッキをお勧めしています。

隣のシャワーブースから流れてくる水を遮るためステンレス巾木仕様も可能です。

※排水溝の設計には充分ご注意ください。



オープンジャッキ仕様



ステンレス巾木仕様



<プライバシー対策の一例>

■開口部のドア仕様

開口部は身体等の挟まれ防止としてカーテン仕様をお勧めしていますが、使用環境によっては人の目線をより遮るため「ドア仕様」も可能です。

a) 内開きのドア

※カギ付きも可能です。

b) 自由開きのドア

※通路側の人と衝突のリスク対策が必要です。

シャワーブースのドアは水掛を小さくするため、上部と足元を大きくあけるスタイルが一般的です。



4. メンテナンス

末永くご利用いただくために、使用上の注意を守ってご利用いただくとともに、定期的にメンテナンスすることが必要です。

4-1. 清掃方法

- ・水拭きで落ちない汚れは、柔らかい布やスポンジに石鹼または中性洗剤をつけて拭いて下さい。
- 乾いた布で水分を綺麗に拭き取って下さい。中性洗剤で落ちない汚れは薬用アルコール(薬局で購入できます。)で拭いて下さい。

4-2. 清掃時のご注意

- ・パネルの下部にモップをぶつけないで下さい。(表面のはがれの原因になります。)
- ・パネルや金具類は、シンナー、ベンジン、アセトン、塩酸、強アルカリ性の薬品等で拭きますと表面の変色や変質の原因になります。絶対に使用しないで下さい。
- ・油性マジック、クレヨン、毛染剤、ヘアーマニキュアなどが付着したまま放置しておきますと表面が変色するものもありますので、すぐに洗い流して下さい。
- ・たわし、ナイロンたわし、みがき粉、クレンザー等で洗いますと表面に傷がつく場合もありますので、できるだけ使用しないで下さい。(やむを得ず使用する場合は目立たない部分で確認した上でご使用下さい。)
- ・金具類は水滴が付いたまま放置しますと、錆びる可能性があります。乾いた布で定期的に拭き取りすることをお勧めします。

4-3. 日常点検

- ・パネル、ドアの変形、カーテンの汚れの有無の確認
- ・床オープンアジャスター、巾木部の汚れ、錆、変形
- ・ドアの開閉確認

※日常点検で異常がありましたら製造メーカーにご連絡ください。

5. 施工事例



内開きドアタイプ



カーテンタイプ



カーテンタイプ



自由開きドアタイプ